

国臨協新潟地区会会報

朱鷺っと

2020年1月発行
第88号

発行者：渡辺 靖 (西新潟中央)
編集委員：柳澤 隆司 (さいがた医療)
土田 昌美 (西新潟中央)
柳田 光利 (新潟)

謹
賀
新
年



弥彦山と白鳥





役員挨拶



会長 渡辺 靖
西新潟中央病院

新年明けましておめでとうございます。新潟地区会の皆様におかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、新年を迎えるということは、また新たな1年がスタートすることであり、この“1年”が子供の頃に比べて「早い」と感じるのは、何故だろうと思ひ、早速調べてみました。諸説ありますが、心理学では『人は年を取ると体感時間を短く感じるようになる』という「ジャンネーの法則」と呼ばれる法則があるそうです。例えば、人生を50 cmものさしで表すと50歳の人間にとって1年の長さは1cmほどですが、5歳の人間にとっては10 cmに相当します。5年しか生きていない人間にとっては、1年は長い時間とを感じるということになります。「今現在進行している時間の体感速度」ではなく、「過去を振り返った時に感じる時間の長さの印象」が残っているということでしょうか。とはいえ、私達は「今」を生きているので、現在進行している時間をいかに大切に使うかが重要です。特に今年は、総合医学会という大きなイベントが控えていますし、おそらく新潟地区の皆様もバタバタすることになるのでは、と想像しています。限られた時間、いつも以上にタイムマネージメントを意識しつつ、一致団結して日々頑張りましょう！



副会長 柳澤 隆司
さいがた医療センター

新年あけましておめでとうございます。新潟地区会会員の皆様におかれましては健やかに新春をお迎えとの事と心よりお慶び申し上げます。

今年度、新潟地区会副会長として就任いたしました柳澤と申します。どうぞよろしくお願いいたします。昨年4月より新潟地区会員として参加させていただいておりました。第一印象として感じたことは、関信管内で会員数が最も少ない地区会でありながら、毎年行われるレクリエーションの開催や、年3回発行の会報誌「朱鷺っと」の発行など、活動が活発な地区会であるということです。また、「朱鷺っと」は今まで87号まで発行されており、長い歴史を感じました。

昨年度の定期総会で承認された事業計画を進め、この地区会の益々の発展のため、皆様の協力を得ながら努力いたしますのでよろしくお願いいたします。

新年明けましておめでとうございます。

新潟地区会会員の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

今年度より新潟地区会理事を務めさせて頂くことになりました西新潟中央病院の土田昌美と申します。会員の皆様には「朱鷺っと」作成においてお世話になります。不慣れではありますが新潟地区会発展のために努力していきたいと思ひます。

本年もよろしくお願い申し上げます。



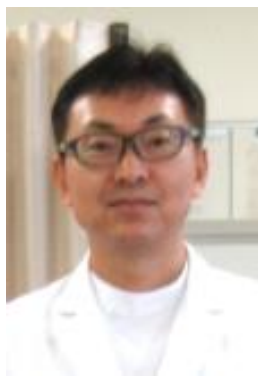
理事 土田 昌美
西新潟中央病院

新年あけましておめでとうございます。

新潟地区会会員の皆様におかれましては、健やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

今年度より、新潟地区会理事を務めさせて頂くことになりました新潟病院の柳田です。今年度は、当院が交流会および総会・研修会の当番施設となっております。出来る限り有意義な活動を目指して、皆様の期待に添えるように努力したいと考えております。

本年も宜しくお願い致します。



理事 柳田 光利
新潟病院



年頭の一言



西新潟中央病院

自分を見つめなおしたい Y.W

海外旅行に行きたい Y.S

いろいろと頑張ります S.N

「感謝」の気持ちを忘れず行動する M.T

「信」 A.K

毎日、ヨガ・ストレッチを行い体調管理につとめる C.M

ダイエット G.Y

3月で定年を迎えます。再雇用でガンバリます。よろしくお願いします。N.Y

「原点回帰」 H.F



新潟病院



来年こそマツダへ絶対行くぞ！！ T.I

Rivers know this. There is no hurry. We shall get there some day.
by A. A. Milne

1つずつ 片付け、収納 見直したい。いらないものはさようなら。M.S

心に余裕を持って、仕事も子育ても全力投球 M.T

資格試験にチャレンジ！！

目標は高く、でも高すぎず… 健康第一に頑張ります。 O.O

2020一言 南

心穏やかにスローライフ！（ネーム還暦）

さいがた医療センター

竹内：火打山へ登山する！そして「子に臥し虎に起く」で頑張ります。

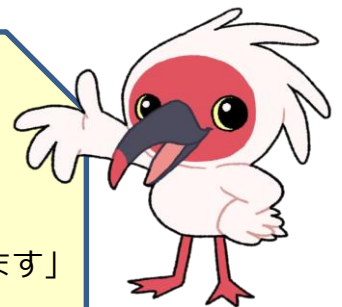
柳澤：単身赴任を楽しむ（佐渡にいつてみたい）

蓮見：「皆様に支えられ感謝しております。恩返しができるよう努力します」

島田：「仕事・子育て共に充実した1年に！！」

水澤：「今年こそ人生を満喫できるように頑張ります」

石塚：岩手より北へ！広島より西へ！



定期総会・研修会報告

平成30年度新潟地区会定期総会研修会に参加して

NHOさいがた医療センター
水澤 望

令和元年10月19日(土)NHOさいがた医療センターにおいて第39回国臨協関信支部新潟地区定期総会・研修会が開催されました。来賓として、関東信越グループより北沢臨床検査専門職、国臨協関信支部より岩崎支部長にご臨席賜りました。

研修会では、千葉東病院の田原彩華先生より「尿沈渣について～夜間・休日時の尿沈渣の見方～」についてご講演頂きました。腎・泌尿器系の生理から尿中に出現する沈査成分、尿試験紙法の原理や注意点、標本作成方法や尿沈渣を観察する上での顕微鏡の使い方まで幅広い内容のご講演でした。

特に、尿沈査で出現しやすい白血球類や、上皮細胞類、円柱類・結晶などの細かい特徴を丁寧にお話していただき、とても勉強になりました。また、尿試験紙法について、それぞれの項目の測定原理と偽陽性・偽陰性の原因から、尿潜血反応と沈査赤血球の結果の乖離の原因、亜硝酸塩の試験紙が反応する菌種まで、詳細にご説明していただきました。普段、私は生理検査を担当しており、尿沈渣を見る機会が主に時間外業務しかなく、検査する機会がほとんどありませんでしたが、今回の講演で一般検査も積極的に学び、業務に生かしていきたいと思いました。

続いて北沢臨床検査専門職から「伝達事項ならびに会員の皆様に向けて」と題し、国立病院機構および関東信越グループの概要、人材育成について多くの内容をご講演いただきました。特に人材育成では認定試験や主任技師等任用候補者選考のお話を聞いて、数多くの認定試験に対して制度が整えられていることを知ることができました。積極的に活用し、資格取得に挑戦できればと思います。定期総会では竹内地区会長から挨拶を頂き、平成30年度経過報告、令和元年度事業方針（案）、新役員選出などが審議され、会員の承認をもって無事に終了しました。

定期総会・研修会終了後には場所を移して懇親会が開かれました。和やかで明るい雰囲気の中、和気あいあいと親睦を深めることができました。

最後になりますが、お忙しい中ご講演いただいた北沢臨床検査専門職ならびに田原先生、ご臨席賜りました岩崎支部長、そして新潟地区会定期総会・研修会を企画・開催してくださいました新潟地区会役員の皆様に厚くお礼申し上げます。

(支部だより掲載済み)



趣味のコーナー



西新潟中央病院 古江 裕志

50過ぎのおじさまの趣味の話（ガラクタ集め）程、つまらないものは無いので違うお話をします。

さて、皆様は、2019年の年末に新潟関連ですごいことが起きていたことはご存じでしょうか？日刊スポーツ12/30の全国版の記事にも大きく掲載されています。もしかしたらご存じの方もいるかもしれません。

J A全農にて毎年、チビリンピックというジュニアのスポーツ大会が開催されています。サッカーをされるお子さまの居るご家庭なら一度は、聞いたことがあるかもしれません。

2019年12月29日（日）東京の明治神宮外苑アイススケートリンクにて第2回全農杯全日本小学生カーリング大会が開催され、なんと！新潟のチームが優勝しました。快挙だそうです。

なぜ、このお話をするかと言いますと、たまたま娘が新潟県カーリング協会（N C A）に所属しておりアイスアリーナへ練習の送り迎えをしていることからこのビックニュース知ることとなりました。「お前の趣味の話じゃないんかい！」と突っ込みたくなるところですが、それは置いといて。結成2年目の小学生チームが優勝することはこの界隈ではすごいことです。エンド（ストーンを投げる区切り 大人は、10エンド）こそ、大人の半分ですが、ルールや競技用ストーンは同じです（子供用ストーンなどはありません）。この競技で有名なのは、北海道や青森、長野（軽井沢）のチームです。カーリング専用のリンクもあり学校の授業にも取り入れられていて競技人口も多く、各都道府県の予選を勝ち抜いての出場となります。それに対して新潟県には、専用のアイスリンクはありませんし、子供のチームなどは、1チーム集めるのがやっとで数年前まで他県から選手を借りて試合に参加していたそうです。新潟市には、MGS三菱ガスアイスアリーナがありメインリンクは、ロシアのザキトフ選手が競技の調整を行ったなどで知られています。カーリングのできるリンクは、普段、チビッコリンクとして使われていて、営業終了後にリンクの整備（氷づくり）を1時間行うことでやっと練習することができます。整備しても強豪県のリンクと比べると氷の状態はあまり良くありません。（専用のリンクは、氷もきれいでストーンが自分の思った方向に曲がるそうですが、アイスアリーナは、投げても思った方向に曲がらない癖のあるリンクだそうです。）そのような条件で練習し鍛えられ優勝するのですから、とてもすごいことなのです。ただ、この子供たちも中高生になると部活動や学業などが忙しくなり参加しなくなってくるそうです。他県に比べてジュニア（21歳以下の育成枠）の選手が育たないことが新潟県の悩みだそうです。昨年からは、柏崎アクアパークでも講習会が始まりましたので、若い競技人口が増えて県内から代表選手などが出てくるとこの競技もさらに面白くなってくるかもしれません。

ちなみに、私は、屋内と屋外の温度差、防寒対策をしても底からくるあの冷えで体調を崩してしまうため外から見る専門となっており陰ながら応援しております。ご興味のある方は、協会のホームページをご覧ください。



今年度活動予定



- ・ 地区会交流会
日程：令和2年6月中旬～下旬予定
担当：新潟病院
- ・ 地区会定期総会・研修会
日程：令和2年11月7日(土)予定
- ・ 「朱鷺っと」発行
年3回（1・7・10月）



編集後記

これから冬本番となりますが、道を歩いているとサザンカの花をよく見かけます。生花はストレスや疲労の軽減、活気が得られるなどの効果があると言われています。皆さんも花からパワーをもらって冬をのりきりましょう！（M.T）



新潟地区会事務局
NHO西新潟中央病院臨床検査科内
TEL 025-265-3171